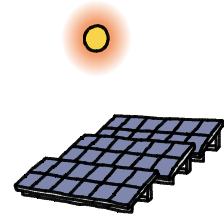


太陽の都 静岡県

台風の季節の9月も終わり、10月に近くなると穏やかな天候が増えてきますね。
 今回のコラムでは、太陽光と静岡県の関係について見ていきたいと思います。
 気象庁HPによると、日本の主要154観測地点における日照時間の平年値は、
 御前崎市が2230.6時間で全国2位、浜松市が2207.9時間で全国4位となっています。

日照時間の長い観測地点

区分	1位 潮岬 (和歌山県)	2位 御前崎 (静岡県)	3位 清水 (高知県)	4位 浜松 (静岡県)	5位 伊良湖 (愛知県)
日照時間	2240.1	2230.6	2210.1	2207.9	2202



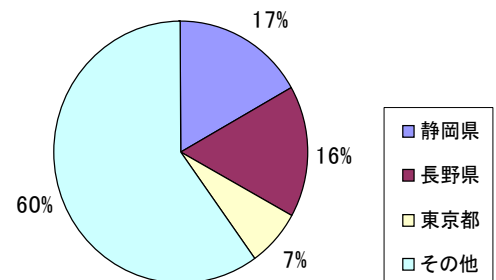
単位：時間
 出典：気象庁HP

こうした全国屈指の日照時間に恵まれた静岡県では、太陽光発電や太陽熱発電の導入が年々進んでいます。平成27年度の静岡県における住宅用太陽光発電設備の設置件数は、8万8千件であり、全国3位となっています。

また、太陽熱発電については、全国的に太陽熱利用設備(ソーラーシステム)の新規導入件数が減少している中で、静岡県は平成24年度から全国1位を維持しています。

ソーラーシステム導入件数(一戸建て)(平成28年度)

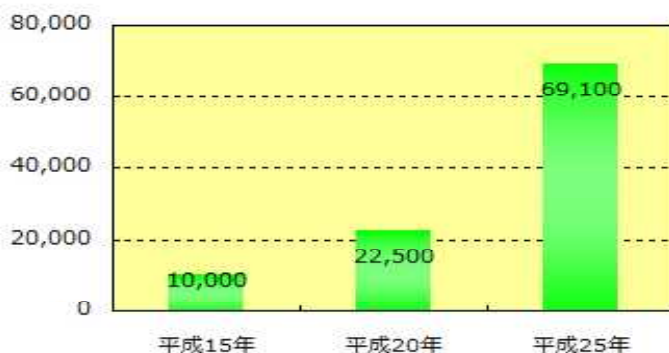
区分	1位 静岡県	2位 長野県	3位 東京都	全国
導入件数	438	393	173	2,518
全国に占める割合	17%	16%	7%	100%



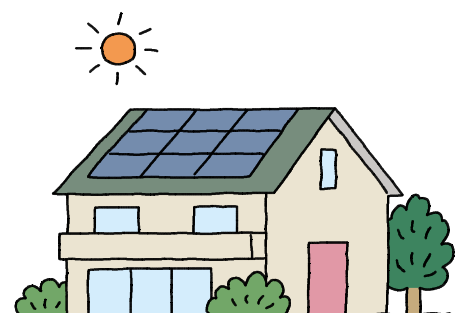
単位：件
 出典：一般社団法人ソーラーシステム振興協会

5年に1度、総務省統計局が実施している住宅・土地統計調査の結果から、静岡県の住宅における太陽光を利用した発電設備の導入件数が、平成20年から25年の間に3倍も増えています。このことから、地球温暖化などの環境問題に対する人々の関心が高まっていることが読み取れます。来年は平成30年住宅・土地統計調査が行われますので、この数値がどう変化するか楽しみですね。

太陽光を利用した発電機器の住宅への導入件数(静岡県)



単位：戸
 出典：『住宅・土地統計調査』総務省統計局



全国屈指の日照時間の恩恵を受け、静岡県には様々な特産物があります。例えば、静岡市久能地区では温暖な気候と豊富な日照時間を活かして、葉しょうがが生産されています。

葉しょうがは、一般的に見かける根しょうがとは異なり、小さな根茎に茎葉がついたものです。最大の特徴は、生のままかじれる事で、独特な噛み応えがあります。

そんな葉しょうがの全国における収穫量は1,257トン。静岡県は635トンで、全国の50%以上を占めています。また、出荷量についても、全国1位となっています。



写真提供：公益財団法人静岡県農業振興基金協会

～葉しょうが～

	1位	2位	3位
	静岡県	千葉県	埼玉県
収穫量	635	407	61
出荷量	459	383	48

単位:トン(t)

出典:農林水産省「地域特産野菜生産状況
(平成26年産)」

その他、静岡県はエシャレットも全国2位という収穫量と出荷量を誇ります。エシャレットというと、何だかおしゃれな名前であまり馴染みが無いかもしれませんね。

エシャレットは、いわば生食用に軟白栽培されたらっきょうのことです。らっきょうと言えば、とても馴染み深く感じられると思います。ただ、エシャレットは一般的ならっきょうよりもクセが無く、食べやすいものになっています。



～エシャレット～

	1位	2位	3位
	茨城県	静岡県	埼玉県
収穫量	478	283	6
	1位	2位	3位
	茨城県	静岡県	千葉県
出荷量	478	283	5

単位:トン(t)

出典:農林水産省「地域特産野菜生産状況
(平成26年産)」

上記で述べたもの以外にも、静岡県には誇るべき特産物がまだまだあります。それは、全国から見ても長い日照時間のおかげかもしれません。しかしながら、太陽の恩恵は今回のコラムで述べた事だけに留まりません。

何よりも、太陽エネルギーは人間のポジティブさを引き出す力があると言われていています。私達も太陽エネルギーをたくさん浴びて、健康的な生活を過ごしていきたいものです。